

やまぐち

COMMUNICATION PAPER YAMAGUCHI

主要内容

- 山口市老人保健福祉計画
- 青少年健全育成
- 人として生きる願いを大切に

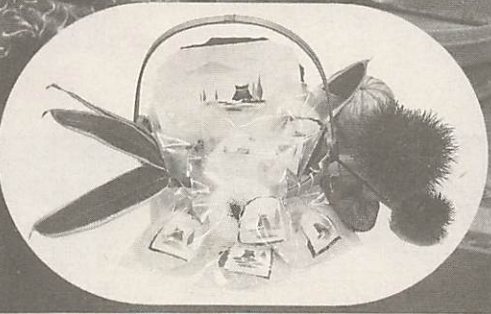
市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやり みんなですすめる 交通安全

交通事故状況 <10月>

- 発生件数 57 (累計553/前年比+29)
- 死亡者 0 (累計 11/前年比+ 1)
- 負傷者 65 (累計635/前年比+52)

●発行/山口市役所 〒753 山口市龜山町2-1 ☎0839(22)4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/株式会社マルニ



▷出来上がった「うつぎの花」と材料の栗、ほおずきなど

小鯖の味「うつぎの花」咲いた

小鯖地区では、地区の婦人会の料理グループが中心となって、蒸し菓子「うつぎの花」を作っています。「うつぎの花」は、山イモや卵白、ホシブドウ、納豆、木の实などを使った100%自然の味。10月7日に行われた「ふるさと特産品加工開発コンクール」では、優良賞（知事表彰）を受賞しました。発案者の田中俊江さんは、「将来的には、上新粉やクチナシなどすべて地元で採れるものを使って、いろいろと工夫していきたい」と話しておられます。

11/15
1993年 No. 1112

山口市老人保健 福祉計画の 策定に向けて

二十一世紀の初頭には、国民の約四人に一人は六十五歳以上の高齢者になると見込まれており、一人暮らしの老人と共に、寝たきりや痴呆性老人など社会的に援助を必要とする

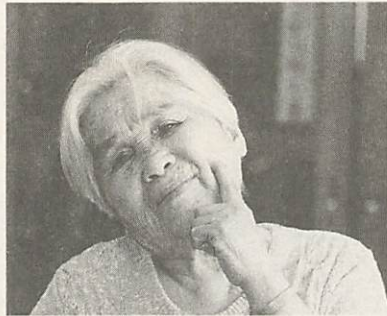


するお年寄りも増加していくと考えられています。また、お年寄りを取り巻く環境も、核家族化、女性の社会進出、扶養意識の変化により家庭での介護能力が低下す

るなど大きく変わりつつあります。お年寄りが生涯を通じて安心して暮らせる社会をつくるために、今から二十一世紀に向けて、総合的な対策を進めていくことが重要な課題です。

山口市では、国の「高齢者保健福祉推進十か年戦略」の策定、翌年の法改正を受け、「山口市老人保健福祉計画」を平成五年度中に策定するよう着手しました。

昨年は、将来の要援護老人の人数の推計等のために基礎



調査を行い、今年四月には、市議会、学識経験者、保健医療福祉団体、行政関係者などを委員とする「策定委員会」を設置して調査検討を進めています。

このたび、平成十一年（一九九九年）を目標年度とし、老人保健福祉サービスの回数などを目標水準として明示した計画の主要部分案がまとまりました。

老人保健福祉計画 主要部分案 高齡社会へ向けて まとまる

要援護老人の 状況

区	分	平成4年度	平成11年度	
総人口		129,349	135,059	
65歳以上人口		18,591	22,881	
高齢化率		14.4%	16.9%	
要援護	寝たきり	在宅	281	316
		在宅以外	970	1,218
	痴呆	在宅	152	187
		在宅以外	846	1,042
	虚弱	在宅	82	82
		在宅以外	82	82
要援護計		2,331	2,845	

四年度の数値は「高齢者保健福祉基礎調査」の結果によるものです。（ただし、痴呆の数値は推計）
十一年度の数値は、四年度の出現率をもとに、国・県の示した方法により推計したものです。

老人保健福祉 サービスの 目標水準の設定

水準の設定に当たっては国・県の基準を堅持しつつ、山口市の実情に沿って定めました。また、数値は高齢者個々の人に対するサービス量を定めるものではなく、サービス実施体制の整備の目安です。

1 在宅福祉サービスの 目標水準

サービスの種類	要援護老人		
	寝たきり老人	痴呆性老人	虚弱老人
ホームヘルプサービス	週4回	週4回	週2回
デイサービス	週2回	週3回	週1回
ショートステイ	年6回	年9回	年2回



デイサービス

・ホームヘルプサービス
日常生活に支障のある在宅のお年寄りをホームヘルパーが訪問し、家事や介護のサービスをします。
・デイサービス
虚弱なお年寄りをデイサービスセンターへ送迎し、本人の健康増進と、家族の介護負担の軽減を図ります。
・ショートステイ
家族などが、冠婚葬祭や介

護疲れなどで一時的にお年寄りを介護できなくなったとき、ホームでお世話します。

2 老人保健サービスの 目標水準

保健サービスは、寝たきりや痴呆にならないで、いつまでも元気老人で暮らしていたために、四十歳以上の人を対象に予防対策や健康増進を図ることと、病気になるれた人の療養・看護指導などを行います。

○健康診査の目標水準

検診項目	目標受診率
基本健康診査	50%
胃がん検診	30%
子宮がん検診	30%
肺がん検診	40%
乳がん検診	30%
大腸がん検診	30%

がん、心臓病、脳卒中の三大成人病などの早期発見や予防を行うもので、例えば基本健康診査では、現状の約30%を50%にしており、いずれも受診率の向上を目指しています。

○健康教育・健康相談の目標水準

健康教育	
一般健康教育	重点健康教育
78回	80回
健康相談	
一般健康相談	重点健康相談
270回	70回

平成五年秋の叙勲に市内から次の方々が受章されました。功労の分野はそれぞれ違いますが、その道一筋に長年にわたって活躍され、功績が認められた方々です。

（一）内は年齢・住所・功労概要・主要経歴です。敬称略。

（勲三等旭日中綬章）
林 隆之（73・天花・教育研究功労・山口大学名誉教授）
池田 芳（72・仁保・法務行政事務功労・元四国地方更生保護委員会委員）

秋の叙勲

山口市から12人が受章

- 瀬光 博（70・天花・地方自治功労・元山口県地方労働委員会事務局長）
原田義治（70・江崎・防衛功労・元航空自衛隊第五術科学校長）
（勲五等双光旭日章）
野村 悟（70・鑄銭司・裁判所事務功労・元山口地方裁判所資料課長）
本永茂貞（72・深溝・地方自治功労・元山口県監査委員、元山口県商工労働部次長）
（勲五等瑞宝章）
田口克巳（74・元町・教育功労・元公立中学校長）
山田忠子（72・熊野町・教育功労・元公立小学校長）
（勲六等单光旭日章）
三浦 保（70・黄金町・消防功労・元山口市消防団副団長）
（勲七等青色桐葉章）
室積義男（73・吉敷・警察功労・元山口県警部補）
矢野實生（64・朝倉町・電気施設保全業務功労・元中国電力山口支店徳山電力所岩国運転区長）
（勲七等瑞宝章）
小谷 清（69・湯田・矯正業務功労・元山口刑務所副看守長）

- '89 国が「高齢者保健福祉推進10か年戦略(ゴールドプラン)」を策定
- '90 「老人保健法」、「老人福祉法」改正、市町村で「老人保健福祉計画」を策定することとなる
- '92 山口市、「高齢者保健福祉基礎調査」を実施
- '93 山口県が市町村に計画策定の指針を提示
「山口市老人保健福祉計画策定委員会」を設置、年度中に計画の策定を予定
- '99 計画の目標年度

21 山口市 世紀の



健康相談

成人病予防を目的に日常生活習慣の改善指導や基本健康診査の事後指導を中心にを行います。

寝たきり老人、脳血管障害に伴う痴呆性老人、虚弱老人にならないよう、骨粗しょう症、糖尿病などの予防を目的とした重点健康教育・相談の目標水準を高くしています。

訪問指導の目標水準

対象者	要 援 護 老 人		
	寝たきり老人	痴呆性老人	虚弱老人
訪問指導	年6回	年3回	年6回
老人訪問看護	週1回	週1回	週1回

保健婦による訪問指導の対象者は、寝たきり老人、軽度痴呆性老人、介護を要する虚弱老人、健康診査等による要指導老人などです。老人訪問看護は、訪問看護

ステーションの看護婦が実施します。

機能訓練の目標水準

在宅の脳卒中後遺症者、老化などによる心身機能低下者に対する、保健婦、理学療法士による機能訓練を行います。

機能訓練型を三か所、レクリエーション型を十六か所で開催します。

脳卒中後遺症者等	老化等による心身機能低下者
週2回	週2回

施設サービスの目標水準



老人ホームでの生活

施設でのサービスは在宅サービスと共に老人保健福祉の両輪となります。基礎調査をもとに、十一年時点での対応を考えて目標設定しました。

施設の種類	目標とする入所者数
特別養護老人ホーム	目標年の65歳以上人口の1.3%を目標入所者数とする 目標入所者数 297人
養護老人ホーム	現在の定員数を目安とする。 目標入所者数 50人（福寿園）
老人保健施設	目標年の65歳以上人口の1.2%を目標入所者数とする 目標入所者数 275人
ケアハウス	目標年の65歳以上人口の0.5%を目標入所者数とする 目標入所者数 114人

※施設整備については、広域圏における調整があります

今回まとまったのは、「山口市老人保健福祉計画」の主要部分です。この案についての意見を聞きつつ検討を加えると共に、さらに各サービスの目標の実現に必要な施設・人員数の算定、不足分についての具体的な確保策、また、保健・医療・福祉の連携などを盛り込み来年三月に全体の計画が出来上がる予定です。

つかんでいいますか子供のこころ



11月は青少年健全育成強調月間

青少年が非行に陥ることなく、心身ともに健やかに成長するためには、地域等における青少年育成活動の促進が必要です。

そこで、「子どもは地域で育つ」地域は子どもで結ばれる「出会い ふれあい ふるさとづくり」をスローガンに、青少年健全育成関係者ブロック別研修会が、八月下旬から九月中旬にかけて、市内五会場で行われました。日頃感じていることや、地域・家庭での悩みなどを持ち寄り、地元の小学校長の講話による問題提起をもとに、二十人ほどのグループに分かれて、活発な意見交換がなされました。子供に対する思いなど、さまざまな意見の中から、その一部を紹介します。

子供たちの心の中をもっとよく知りたい

■今の子供たちの姿

- ・夜間、中学生や高校生が小学校の校内で、たばこを吸っている。吸い殻をあちこちに落とされているし、火の始末という面からも危険。
- ・親が先に口を出してしまうので、子供が指示待ち人間になっている。子供が計画を立て、それを実践するようになり、見守ることが大切。
- ・子供の遊びの中で自然に生まれていた縦の人間関係が、外での遊びが減って、



ブロック別研修会

成立しなくなつた。


- ・髪を染めるなど、見かけはつっぱっていても、話をしてみると、一人ひとりはいい子だ。
- ・子供の数が減っているのに、大切に育てられすぎている。自然や人とのかわりなど、体を使うさまざまな体験を通じて、子供はもつと野性的に育てられるべきだ。
- ・言葉づかいが気になる。名前の呼び捨て、女の子の乱暴な言葉づかいなど。
- ・何事にも無関心・無感動な子供が増えている。子供同士につきあいも希薄で、クールで大人っぽい反面、精神的に弱い面がある。いじめも無関心な態度が助長したものだ。
- ・突然のことにショックが大きかった。毎朝の闘いは、他人には分かってもらえないだろう。
- ・頭ごなしにしかったり、責めたりすることをやめ、子供に添うてみると、状態が少しよくなった。
- ・学校へ行かなければならぬという考えを捨てた。
- ・高校へ行って、やりたいことがあったようだが、現実には、勉強に追われて、学校へ行かなくなった。
- ・原因は何だろうか。世の中が裕福になりすぎたせい。いろいろと複雑な原因が重なって、こういう社会現象が生まれたのでは。かえって、どの子にも起こりうる問題といえる。

■不登校の問題

自分の子が不登校になったが、まさか自分の子だと

■不登校の苦しみの中から

健全だといわれている子が、本当に健全なのだろうか。挫折感を感じて子供が味わうことがあっても、いいのではないか。すべての事が順調に進んでほしくないという気持ちがある。あの時の苦しみがあつたから、今の自分がある、と思える日が来るだろう。



大殿小学校長 河村 順弘

「親の背を見て子は育つ」というが、親が一生懸命に働いている姿を見せることが大切だ。

ほめてやることが大切

こそ、子供にとっての最大の教育です。

また、教育は性善説で見るべきです。子供の悪いところばかりに目を向けるのではなく、善行（良いところ）を見つけて、ほめてやるのが大切です。

・親も子も良い勉強になった。子供が分からせてくれたことがある。

子供に良い機会を与えて 他人に無関心な子供たち



鑄銭司小学校長 福重 悦子

山形県の中学校で起こったマッド殺人事件の背景には、他人に無関心という、今の子供たちの大きな問題がある。

家庭で、勉強第一主義になり、しつけは二の次になっているのではないか。勇氣や正義感といったことについて、子供にきちんと教えているか、もう一度考えてみるべきだ。



小鱒小学校長 山田 延雄

夏休みは、日頃の学習の成果を実践にうつす良い機会である。子供会活動で伝承文化を学んだり、地域の行事に参加したりなど、地域とのふれあいを持つことができる。子供は、良い機会を与えてやれば、積極的に参加するものだ。

家庭の中心は夫婦

子供を育てることは親を育てること



佐山小校長 秦 卓滋

親の期待が大きすぎたり、愛情を十分に受けられなかった子供は、心がまっすぐに育たない。

大人の偏った考えで子供をだめにしてはいけません。

子供を育てること、親を育てることである。その時に、夫婦の良いことが強い味方になる。



良城小校長 下田 常将

家庭の中心は夫婦です。しっかりした家庭をつくるためには、夫婦の絆をきちんとすることが大切である。

特に、若い夫婦が、PTA講座、家庭教育学級、地域活動などに積極的に参加し、意識を高めることは、青少年の健全育成において、遠回りのようで、結局、近道なのである。

「地域の子」として、ふれあいを深めよう

■家庭とのかかわり

親も子も忙しいため、家庭での対話が少ない。忙しさを理由に、逃げているともいえる。

子供には、遊びも大切だと思っても、周りの情報に流されて、塾や習いごとへ行かせてしまう。自分はそのうちにはないと思ってしまうが、まったく自分のことだと気付いて、ショックを受けた。

他の家では許されるのに、なぜだめなのかと言われると、答えにくい。家によって、それぞれの味があつていい。家庭によって、うちはこれだけはい

う基準をつくるべき。

・大人が子供を遊ばせないのであつて、子供が遊ばないのではない。

・近頃の若い親は、家庭は大切にしながら、地域には非協力的。

・父親には、子供に対して、もっと厳しくしてほしい。

・もっとしつけにかかわり、地域の活動にも参加してほしい。

・子育てに対する自分の信念を持つべき。

・非行の芽は、急に出るものではない。

・幼児の食事は必ず手作りにするなど、母親の努力が必要

要。感性は食卓で育つ。

・子供は家庭の雰囲気を感じ取り、それが日頃の行動にあらわれる。

・隣近所の子も一緒に育てるようなつもりで。

■地域とのかかわり

・他人の子供を自信を持ってしかろう。上手におこり、上手にほめること。

・夏休みのラジオ体操を見直す必要があるのでは。

・子供会の球技大会では、上級生がリーダーシップをとる、縦の関係のつながりができてよい。

・中学生は、声を掛けても、あいさつをしない。照れくさい年齢なのだろう。

中・高校生のためのちきゅう共感塾'93

山口県協力隊を育てる会主催。未来に可能性いっぱいの中・高校生たちに、地球市民の一員として、南北問題を考えてもらおうというものです。

- ◆参加対象者 国際社会に関心のある中・高校生、社会人
- ◆日時 11月28日(日)、午前10時～午後3時30分
- ◆場所 防長青年館
- ◆定員・参加費 100人・無料
- ◆申し込み 電話で、山口県企画部婦人青少年課内、山口県協力隊を育てる会事務局 (☎33-2634) へ

成人式該当者の皆さんへ

市では、成人式を平成6年1月15日に市民会館で行います。

該当者は、昭和48年4月2日から昭和49年4月1日の間に生まれた人です。

案内状は、平成5年12月1日現在の住民基本台帳をもとに作成し、12月末に送付する予定です。多数のご参加をお願いします。

他市町村に登録して希望する人は、市教育委員会生涯学習課 (☎22-4111) または、最寄りの公民館へお申し出ください。



青少年の社会参加活動

◎家庭、地域の「一員」としての役割を果たそう

農作業の機械化、

家庭用品の電化等によって、昔に比べると、仕事に子供の手を借りる必要は少なくなり、子供もまた、

忙しいことや塾通いで、余裕がなくなりました。そうした中、子供は、労働からどんどん離れつつあります。

しかし、子供が家庭の中で、年齢に応じた役割を果たすことは、大切なことです。子供は、任せられ

た仕事をこなすことによって、「自分は役に立っている」と感じ、家族の一員としての自覚を深めていきます。

また、地域においても、さまざまな活動に参加し、いろんな人との交わりの中で、社会人としてのあり方を身にかけていきます。

◎11月21日(家庭の日)は、社会参加活動に参加しよう

市では、子供たちに、社会の一員という自覚を持ってもらおうと、毎年十一月の第三日曜日(家庭の日)に、青少年社会参加活動として、町内会を中心に、市内一斉の清掃活動を呼び掛けています。

親子いっしょに、いい汗をかいて、ふれあいを深めましょう。



昨年11月、社会参加活動として行った「一の坂川の清掃」

人として生きる願いを大切に

「差別のない二十一世紀をめざしてーあなたの感性をみがきませんかー」をスローガンに、今年も山口県同和対策推進強調旬間が11月11日から20日まで開催されています。

市内ではふだんから各地、各機関で同和問題の解決に取り組んでいます。今回はその中から指定地区や指定校などの事例を紹介します。

ふれあい活動の大内幼稚園

大内幼稚園では、思いやる心、いたわりあう心、助け合う心を育てることを目標に同和教育を進めています。

日常の遊び、自然とのふれあい、地域の人々とのふれあい、親子のふれあいの四つの場で日々実践を続けながら、子どもたちの豊かな心をはぐくんでいます。

今年度は特に、「三歳児とのふれあい・やんちゃくらぶ」「お年寄りとの七夕会」



などの中で温かい心情を育てていきたいと計画しています。共に同和教育観を確かにしながら、教職員も研修を深めています。

仲間づくりの嘉川小学校



嘉川小学校では、「自分の考えを豊かに表現する力を育てるー自己表現を生活に生かすー」という主題で研究に取り組んでいます。

子供たちが自分の持っている表現力を十分に発揮するためには、自分の思いが自由に発表できるような支持的風土を持った集団作りが大切です。失敗を笑ったりせず、相互に認めあう学級集団作りはもちろんのこと、縦割り班による総合活動や集会活動をと

修会を行い、正しい同和教育観の確立と、お互いの人権感覚を高めるように努めています。

心の通いあう湯田中学校

湯田中学校では従来からの研究主題「豊かな心を持ちたくましい実践力のある生徒の育成をめざして」に「学校同和教育の見直しとその実践」という副主題を設けました。

同和教育そのものは同和問題の解決を目指すものです。そこで本校では、生徒一人

一人の個性を大切にし、心の通いあう集団作りをめざす中で、人権に徹する態度を育て、社会的判断力を養い、連帯



感・主体性を育てることが、人権感覚の基礎・基本につながるかと考えました。

今年度は教職員の勉強会はもちろん、家庭・地域との連携を図るための活動も推進しています。

明るい

地域づくりの宮野地区



協議会の研修

宮野地区では、同和問題をはじめとするあらゆる差別を人権にかかわる問題として受け止め、正しい認識を持つことにより差別をなくし、明るい地域作りを進めるため、平成四年十二月に「宮野地区人権学習推進協議会」が発足しました。

人権問題解決のため、いま私たちができること、しなければいけないことを地区の皆さんへ伝えることにより、差別への問題意識が少しでも高まればと考えています。

今後、学習会や地区だよりなどを利用しながら、啓発活動を行い、差別のない住みよい宮野をめざして取り組んでいきます。

ともに築く

鑄銭司地区

鑄銭司地区では、地域や学校、家庭、職場が一体となり、「人間とともに築く心ゆたかな鑄銭司」をめざしています。

人権学習推進委員は各自治会でビデオ学習を行い、園児や児童、生徒からは啓発作品を募集しました。また、PTA、老人クラブ、婦人会、商工振興会などの団体では講演会と協議会を開催し、同和問題への理解を深めました。

更に、指導者を養成するため、各団体の指導者は菊川町への視察を行いました。また、市社会同和教育指導者養成講座のOBは、体験交流学習会を開催しました。

これからも、地区民の意識の高揚と、地域の更なる変革をめざして、教育活動を続けます。

菊川町への視察



同和対策推進強調旬間にちなんで、
 県・市で同和問題についての啓発標語・
 ポスター・感想文(小学生は市独自)を
 募集しましたところ、多数の応募があり
 ました。
 その作品の一部を紹介します。(敬称略)

**作文
市特選**

傍観者にはならない
(要約)



鴻上中学校
 一年 赤木 ちえ

同和地区の話となると、ヒソヒソと一部の人が話す重苦しい空気に気付いた。(江戸時代の政治的に作られた)人間性を無視した、人としての価値とは無関係なことで差別される。実にゆゆしい問題である。
 解決の方策は何か。私は四点を提案したい。
 ①同和問題の正しい認識を持つこと

- ②この認識を基盤に誤った考えの人に対しての正しい勇氣ある説得の実施
 - ③常に相手の人とは対等であるとの認識の保持
 - ④人間としての思いやりを持つ豊かな感性、心から差別に対する怒りを持つこと
- この不合理な差別解決のため、中学生の若い感性と古い因習にとらわれない新しい考えのもと、一人一人勇氣を持って、今から行動しようではありませんか。

**作文
市特選**

**「辞書をかさなかつた信ちゃん」を
学習して(要約)**



名田島小学校
 五年 田中 美恵

先生が、この勉強をする前に、アンケートを取られた。いじめたり仲間はずれにしたことがあると思う人、十六人、思わない人、三人、という結果が出た。実は私はこの三人

の中に入っていた。直接的にいじめたりしたことがないと考えたからだ。しかし、話の中に出てきた「見て見ぬふり」をする友達姿を見て、私もこの人たちと同じ態度を何度かとつたではないかと思つた。私がおもしろい人たちに助けておそろく周りの人たちに助けを求めていただろう。今まで「見て見ぬふり」をしていた私が恥ずかしくなつてきた。

私たちの小学校は人数が少なく、六年間クラス替えというものが無い。約二十人の同じメンバーで六年間を過ごしていく。人を決めつけることなくみんなで力を合わせ、一人一人が心から楽しいといえる学校生活にしたい。

**標語
市特選**

**差別せぬ
やさしい笑顔で
町づくり**



湯田中学校
 二年 田房 孝幸

**ポスター
市特選**



一島中学校
 二年 保手濱 彩

**小学生の作品
感想文**

作文の部

〈入選〉
 鴻南中一年 金沢美穂子、
 二年 重見美恵、宮野中三年
 三浦満知子、中田健一、白石
 中三年 玉屋俊輔

〈佳作〉
 白石中三年 伊藤香奈子、
 伊藤美知子、岡田美紀、大殿
 中一年 藤井晋九郎、二年
 内田望海、三年 金子能久、
 鴻上中三年、海地陽子、鴻南
 中三年 安達 徹、湯田中一
 年 松富真知子

標語の部

〈入選〉
 差別せぬ町をつくろう私から
 湯田中三年 大石実美
 お互いを敬う心で明るい社会
 大内中二年 吉崎満美子
 人権を守って育つ明るい社会
 鴻南中二年 伊藤 綾
 差別なくふれあい育てる新時
 代
 大殿中一年 三宅宏幸

〈佳作〉
 差別せぬ心が開く明るい未来
 川西中二年 松永理沙

**中学生の作品
ポスターの部**

〈入選〉

大内中二年 佐野正和、鴻
 南中二年 山田桂子、平川中
 三年 木下直子、大殿中三年
 森野浩子、仁保中三年 与国
 毅

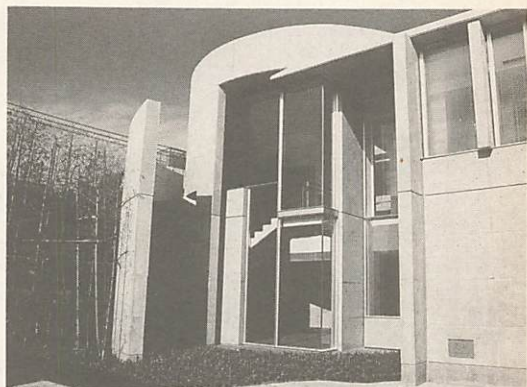
〈佳作〉

湯田中三年 藤村博美、藤
 井亜紀、宮野中三年 岡本秀
 司、白石中二年 高橋扶美子、
 鴻南中二年 石津康太郎、大
 内中二年 安達直子、大殿中
 三年 藤田恭子、川西中三年
 義永佳代、二島中二年 田村
 忍、鴻上中二年 国弘貴子

〈佳作〉

大殿中二年 萬代絵美子、
 鴻上中一年 堀口涼子、三年
 栗林恵美、徳富加織、仁保中
 三年、与国 毅、一年 米本
 綾女、二島中一年 吉田裕志、
 二年 保手濱 彩、宮野中三
 年 諏訪藤子、一年 田中郁
 子

平成5年度上半期の財政公表 中原中也記念館の整備など



△来年2月のオープンが待ちどおしい中原中也記念館

市の予算がどのように執行されているか市民の皆さんに知らせるため、平成5年度上半期(4月1日～9月30日)の財政状況を公表します。

一般会計

一般会計の予算規模は、当初三百七十四億三千万円でスタート。その後、十億六千九百九十九万円の追加補正を行い、総額三百八十四億九千九百九十九万円となっています。

補正の主な内容は、大歳小学校舎改築・二島幼稚園舎増改築に二億四千三百余万円、七月から八月上旬にかけての断続的な降雨による被害に対する災害復旧費三億四千余万円などです。

また、九月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表のとおりで、収入率三八パーセント、

支出済率三〇・三パーセントとなっています。この上半期に実施または着手した事業の主なものは、次のとおりです。

○教育文化施設の整備
良城小、陶小、湯田小体育館、湯上中改築や大規模スポーツ施設、中原中也記念館、大殿公民館建設など

在宅介護支援センター事業、ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業、ショートステイ事業など

○生活基盤の整備
生活道路、公園、市営住宅の整備事業、下排水対策、廃棄物の減量対策など

特別会計の収支状況は表のとおりで、このうち下水道事業会計においては、御堀、朝倉、下東、吉田、矢原地区の一部を重点に市街地周辺地区の整備を進めました。また、仁保地区では農業集落排水事業に取りかかっています。

一般会計の収支状況 (9月末現在)

歳入		歳出			
項目	予算現額(万円)	収済率(%)	項目	予算現額(万円)	支出済率(%)
市税	166億3,078	52.1	議会費	3億1,481	45.8
地方譲与税	8億8,000	24.0	総務費	53億9,401	38.7
地利子割交付金	3億5,300	52.8	民生費	62億5,014	35.7
ゴルフ場利用税交付金	6,000	41.0	衛生費	33億0,805	36.5
自動車取得税交付金	3億5,900	30.5	労働費	9,174	52.1
地方交付税	51億7,900	66.9	農林水産費	15億5,193	17.6
分担金および負担金	4億9,767	35.5	商工費	14億4,343	40.4
使用料および手数料	4億2,943	53.1	土木費	65億3,680	14.4
国庫支出金	37億9,441	19.6	消防費	9億2,163	54.0
県支出入金	17億6,087	7.5	教育費	87億3,759	20.8
財産収入	3億4,638	40.8	災害復旧費	4億8,540	0.7
入金金債	2,921	21.2	公債費	35億3,807	47.1
の	12億4,816	0.0	諸支出金	3億0,000	100.0
その他	55億9,390	0.0	予備費	3,942	0.0
	17億5,121	38.9			
合計	389億1,302	38.0	合計	389億1,302	30.3

(注)歳入歳出予算現額は、繰越額4億1,400万円を含む

特別会計予算の収支状況 (9月末)(単位:万円)

会計	予算現額	収入済額	支出済額	収済率(%)
国民健康保険	61億8,427	22億9,704	21億5,468	34.8
老人保険	100億0,925	39億2,677	41億6,052	41.6
同和对策資金貸付事業	1億7,307	8,019	4,746	27.4
食肉センター	2,213	28	736	33.2
下水道事業	42億0,610	4億3,278	13億1,199	31.2
土地取得事業	6億7,867	5,340	8,394	12.4
駐車場事業	3,612	1,830	1,170	32.4
農業集落排水事業	5億4,497	0	7,832	14.4
特別林野	3,563	1,634	881	24.7
合計	218億9,021	68億2,510	78億6,478	35.9

市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	253万3,405.32㎡
建物	27万9,976.91㎡
山林	6,465.13ha
立木	81万4,520㎡
有価証券	6,860万円
出資による	5億3,886万円
利権	(土地)3,104.09㎡
債券	18億8,502万円
現金	84億6,233万円
基金	1,357.78㎡

市債現在高 (単位:万円)

区分	9月末現在高
一般会計	264億3,867万円
特別会計	167億5,112万円
合計	431億8,979万円

街区表示板が新しくなります 都市サインと合わせ赤紫色に

市では、「〇〇町」や「××一丁目」など町名を示す街区表示板を新しいデザインに変更、今月から取り替え作業に入っています。

新しい表示板は、今までの緑色から今年度中に市役所前や高田公園付近に設置される「都市サイン」の色に合わせ赤紫色とし、街全体の色合いに統一感が表れるようにしました。

また、漢字のみの表示から、どなたでも読みやすいように、右側にひらがな、左側にローマ字を併記、全国的にも珍しい街区表示板となっています。

山口市の住居表示は、昭和四十年六月一日、湯田地区および吉敷・大歳地区の一部で実施したのを皮切り

と、昭和四十四年六月一日、和四十年六月一日、湯田地区および吉敷・大歳地区の一部で実施したのを皮切り

に、昭和四十三年五月一日に白石地区、昭和四十五年六月一日から大殿地区・宮野地区の一部で実施しています。実施した区域には、街区表示板を設置してありますが、設置後二十年以上経過し、退色や建物等の移動による紛失などで、表示が分かりにくくなったところもあります。

今年度は、湯田地区(国道9号山口バイパス以南、平成六年度に湯田地区(国道9号山口バイパス以北)および吉敷・大歳地区、平成七、八年度に白石地区、九年度に大殿地区・宮野地区の住居表示実施済区域の街区表示板を取り替える予定で、まちの美観と住居表示をわかりやすくするとともに、市民の皆さんや山口市を訪れた人たちの便益を図っていきます。



△新しい街区表示板の取り付け作業

検察審査会法施行45周年

今年は、検察審査会法が施行されて45周年になります。交通事故などの被害にあって警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事故を起訴してくれない。このような場合に、その不起訴の処分が正しいかどうかを審査するのが検察審査会です。

詳しくは、山口検察審査会事務局(☎22-1330)へ(紹介ビデオ貸出中)

募集コーナー

ハイビジョン・クロズドサーキット
ハイビジョンウィーク'93特別試写会

「その木戸を通過して」

(山本周五郎原作)

- 日時 11月30日(火) 午後5時55分～7時45分
- 場所 ニューメディアプラザ山口 1階 イベントホール(熊野町)
- 内容 市川崑監督がオールハイビジョンで撮影した、未公開時代劇の大作「その木戸を通過して」を通信衛星を使って上映します。
- 入場料 無料
- 定員 100人(申し込み先着順)
- ※申し込み 官製はがきに住所・氏名・電話番号・人数を記入のうえ山口市地域開発課内ハイビジョン・シティやまぐち推進会議事務局(〒753 山口市亀山町2-1・☎22-4111)へ

山口市老人福祉館の趣味クラブ

- 民謡クラブ
- 内容 日本舞踊
- 日時 毎週金曜日午後1時および毎週月曜日午前10時から
- 場所 山口市福祉センター内老人福祉館
- 対象 60歳以上の人
- 講師 林京枝先生
- 会費 月額700円
- ※申し込み 市福祉センター(下堅小路254・☎22-7121)へ

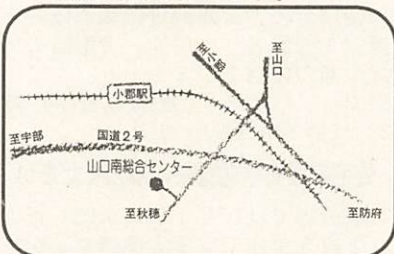
山口南総合センター



レディース スポーツ教室

山口南総合センターでは、主に就業女性を対象に、スポーツを楽しみながら日常生活の基本となる体力を保持増進するためのレディーススポーツ教室を開催します。

- 日時 12月3日(金)から平成6年2月11日(金)までの毎週金曜日 午後7時～9時
- 場所 山口南総合センター(下図)
- 対象 女性
- 教室内容(種目) ラージボール卓球、ソフトバレー、フットベースボール、バドミントン、室内ソフトボール、ストレッチ体操など
- 募集人員 50人
- 参加料 2,000円(保険料、実費)
- 持参品 体育館用シューズ、汗拭き用タオル、縄とじ
- ※申し込み 11月16日から26日までに山口南総合センター(名田島1218-1・☎08397-2-8333)へ 11月29日(月)午後7時から同センターで説明会を行います。



大島みかん狩り 市営バス

- 日時 12月12日(日)午前8時市民会館小ホール前に集合
- 行程 市民会館→山陽自動車道→大島大橋→安下庄みかん園(昼食・みかん狩り)→大島大橋→山陽自動車道→山口(午後5時帰着予定)
- 募集人員 120人
- 参加費 (昼食代を含む) 大人 6,000円 小人・身障者 5,500円
- ※申し込み 市交通局(知事登録国内旅行業第44号)☎22-2555へ

社県勤労福祉共済会の愛称募集

- (社)山口県勤労福祉共済会では、明るい、親しみやすいイメージを図るため愛称を募集しています。
- 応募方法 はがき(1枚1点)で
 - 応募資格 県内に住所または勤務先を有する人
 - 締め切り 12月20日(月)必着
 - 賞品 最優秀作品1点 佳作5点
 - 発表 「県共済」第16号で紹介
 - ※送り先 〒753 山口市滝町1-1 県労政課内 (社)山口県勤労福祉共済会(☎33-3215)へ

県民大学講座「古文書入門講座」

- 「古文書」に親しみながら、古文書読解の初歩的知識を習得し、先人の生活・歴史などについて理解を深めてみませんか。
- 日時 平成6年1月18日(火)～3月1日(火)までの毎週火曜日 午後1時30分～4時30分
 - 会場 山口県生涯教育センター(大手町2-18 県教育会館3階)
 - 対象 県内在住の成人 50人
 - 受講料 資料代として2,000円
 - ※申し込み 往復はがきの住信欄に「住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、希望講座名(古文書入門講座)」、返信欄に「郵便番号、住所、氏名」を記入し、12月14日までに県生涯教育センター(☎23-3325)へ

編集後記

▽高齢化社会の問題は、自分が年をとるか、またはその家族といった当事者にならないと本当に切実な問題として受け止めてもらえないというくらいあります。しかし、まじかに迫った二十一世紀は、かつて私たちが経験したことのない超高齢社会の到来が予想され、この問題は避けて通れない大変大きい課題ではないでしょうか。

▽秋が深まり紅葉が美しい季節になりましたが、今年は夏の天候不順のためか、いま一つ色がぱっとしないようです。

市民無料法律・行政相談

- 日時 11月24日(水)午後1時30分(1時受付開始)
 - 場所 白石公民館
 - 相談内容 日常生活での法律の問題、行政に関する要望・苦情など
 - 相談員 弁護士、行政監
- ※相談に際しては、詳しい書類(登記・契約書など)を持参してください。

12月の不燃物収集日

15日(水)	14日(火)	13日(月)	10日(金)	9日(木)	8日(水)	7日(火)	6日(月)	3日(金)	2日(木)	1日(水)						
下堅中下	三和町・西滝・元町・古熊	平川	西・石観音・堂の前・円政寺	今道大附・熊野・天花・元町	八幡馬場	西朝倉・西惣太夫・角下市・大内	上堅小路・大市諸願・田町	殿大路・道祖町・御局小路	米屋町・久保小路・野田・大	名田島・二島	の木町・新馬場・銭湯小路	熊・下金吉曾・相物小路・松	一本松・湯屋町・木町・上古	佐山	陶・鑄銭司	嘉川
30日(木)	29日(水)	28日(火)	27日(月)	24日(金)	22日(水)	21日(火)	20日(月)	17日(金)	16日(木)							
東朝倉・東惣太夫・朝倉中	大蔵	町・新丁・早間田・鱈石・横	今小路・新天街・新道・新	高・太刀壳	下堅上・東糸米・東白石・荒	宮野	西糸米・(下・中)後河原	中市・今市・東滝・西白石	小崎千坊・泉町	(上・中・下)清水・中讀井	吉敷	上道場門前・上後河原	仁保・前町・新橋西門前			

健康コーナー

健康教育講座

- 期日 11月17日(水)
- 時間 午後1時～3時
- 場所 佐山公民館
- 内容 「がんについて」
- 講師 田村内科 田村勝博先生
- 受講料 無料
- ※申し込みは必要ありません。どなたでも受講できます。

健康教室

- 期日 11月30日(火)
- 時間 午前10時～正午
- 場所 白石公民館
- 内容 「医学からみた昔の知恵」
- 講師 県立衛生看護学院長 上部和彦先生
- 対象 女性
- ※問い合わせ 市婦人大学講座OB会(☎86-2058)へ

乳幼児特別クリニック

- 期日 12月6日(月)
- 受け付け 午後1時～2時
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 場所 山口環境保健所
- ※申し込み 予約制:山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ

催し物とお知らせ

電話加入権の公売

市では、市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を入札により公売します。

- 日時 11月30日(火)午前10時
- 場所 市役所1階第5会議室
- 持参するもの 印鑑、入札予定金(50,000円以上)、別途消費税が必要
- 公売する電話加入権 6件

ご希望の方は入札に際し注意等がありますので、9時40分までに入室して下さい。本人以外の方が入札する場合は委任状が必要です。なお、市税等の納入により当日公売を中止する場合もありますのでご了承ください。

※詳しくは市収納課(☎22-4111)へ

私たちのまち山口

TVSテレビ山口で毎週日曜日
午前11時40分から放送中

山口驚流狂言定期公演



- 日時 11月27日(土)
- 開場 午後1時30分
- 開演 午後2時
- 場所 市民会館小ホール
- 曲目 舎弟…「舎弟とは盗賊のこと」とでたらめを教えられた愚かな弟が兄と喧嘩を始める話。寝代り…思いが叶って彼女の所へ行った出家。いよいよ対面ということになったがその相手は……
- 素袍落…伊勢神宮の誘いに行った主人の伯父方で振舞い酒に酔い、饒別に素袍(すおう)をもらって上機嫌の太郎冠者。
- 入場料 無料
- ※問い合わせ 市教育委員会文化課(☎20-4111)へ

山口に古くから伝わる古典芸能驚流狂言は、山口と新潟県佐渡で保存・伝承されており、県無形文化財に指定されています。

12月から毎週土曜日は 消防本部 閉庁となります

山口・小郡消防組合では、12月から完全週休2日制(12月4日から毎週土曜日が休み)を実施することになりました。

これに伴い、平日の業務時間は午前8時30分から午後5時15分までの15分延長となります。

なお、消防署は従来どおり業務を行います。

確かめましょう 守りましょう 最低賃金

毎年11月21日から30日までは「最低賃金周知旬間」です。

10月1日から、県内で働くすべての労働者に適用される「山口県最低賃金」が日額4,460円、時間額559円に改正されました。

使用者の方は最低賃金額の確認・遵守・労働者への周知、労働者の方は金額の確認をしましょう。

※詳しくは山口労働基準局(☎22-1144・中河原6-16)へ

住宅需要実態調査にご協力ください

建設省では12月1日に全国一斉の「平成5年住宅需要実態調査」を実施します。

この調査は、皆さんが住宅について日頃どのように考えておられるかを伺うもので、国や地方公共団体の住宅施策を行ううえで重要な資料となるものです。

11月24日から12月7日までの間に調査員がお伺いしますのでよろしくご協力をお願いします。

※問い合わせ 県住宅課(☎33-3883)へ

捜査活動にご協力を

最近、昼間の「空き巣狙い」、夜間の「忍込み」「事務所荒らし」や「乗物盗」といった窃盗事件が増加傾向にあります。事件の早期解決と被害回復のため皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

- 不審者(車)を見つけた時は110番
 - 被害に遭ったら早い届け出を
 - 聞き込み捜査にご協力を
 - 指名手配被疑者の発見にご協力を
- 掲示中の手配ポスターやチラシの人物に心当たりがある、近所づきあひもせず様子がおかしいなどの情報がありましたら山口警察署(☎24-0110)へご連絡ください。秘密は固く守ります。

育児休業・介護休業を応援します

県・市町村中小企業勤労者
小口資金貸付制度のご案内

- 資金の用途 育児休業・介護休業中の生活資金等
- 対象 県内に1年以上居住し、中小企業の同一事業所に1年以上勤務している方
- 貸付限度額 100万円
- 償還機関 4年以内(うち据置期間1年以内)
- 貸付利率 年4.5%(金融情勢により変更もあります)
- 申し込み先 労働金庫、山口銀行、西京銀行、各信用金庫の本支店
- ※問い合わせ 市商工観光課(22-4111)または県労政課(☎33-3215)へ

国保の被保険者証

更新の時期です

現在お使いになっている国民健康保険被保険者証・退職被保険者証は、十一月三十日(有効期限が切れます)ので、次のように更新を行います。

- ◆更新の時期 11月16日から30日まで
- ◆新しい被保険者証の色 一般……クリーム色
- ◆退職……うぐいす色

更新の方法

- 納付組織(国保推進員制度を含む)に加入している人は、お世話の方を通じてお届けします。その際に旧被保険者証をお返し下さい。
- 納付組織に加入していない人は、原則として被保険者証を郵送します。旧被保険者証は、市保険年金課または各出張所へお返し下さい。
- ◆遠隔地被保険者証が必要な方は、市保険年金課または各出張所へ申請して下さい。
- ※問い合わせ 市保険年金課(☎22-4111)へ

国保料の納付額証明書を お送りします

国民健康保険料の納付額証明書を十一月月中旬(年金は一月)に郵送します。確定申告、年末調整等に活用下さい。

- ※問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ